

2014年11月18日

**【新製品】流動層式対向型ジェットミル  
ホソカワ／アルピネ カウンタジェットミル AFG-CR**

この度、カウンタジェットミル AFG の分級機能を強化し、超微細化加工による粉体製品の高付加価値化需要に対応した新製品カウンタジェットミル AFG-CR を販売開始しましたので、お知らせいたします。

当装置は、遠心力型気流式分級機を搭載した流動層式対向型ジェットミル AFG の分級部に用いる分級ロータの形状を改良することで、分級性能を向上させ、従来装置の約 1/2 の平均粒子径を持つ微粉製品の製造を可能にしました。

従来機 AFG は、シンプルな構造と優れた微粉生産能力に加え、粉砕時の発熱が少ないことを特長とし、ドイツ子会社のアルピネ社が 1981 年に開発して以来、さまざまな産業分野に数千例におよぶシステムを納入してきました。しかし、最近では電子部品材料をはじめとする二次電池負極材、キャパシタなどに用いる炭素材などでは、微細化や性能向上の目的から従来よりも更に微細な原料を求める傾向が強まりつつあります。

当装置は、それらの需要を満たすと共に新素材開発を支え、新たな高付加価値加工市場を切り拓く装置として販売を促進していく方針です。

なお、当装置は、国際粉体工業展東京 2014（2014 年 11 月 26 日（水）～28 日（金）、於：東京ビッグサイト）で実機を展示予定です。

**<AFG-CR の概要>**

**<型式・価格>**

型式：AFG-CR（200～710 型、4 サイズ）

価格：本体 1,400 万円～1 億 2,000 万円（税別）

**<販売目標>**

5 台/年以上

**<製品の概要>**

**1. 製品名称**

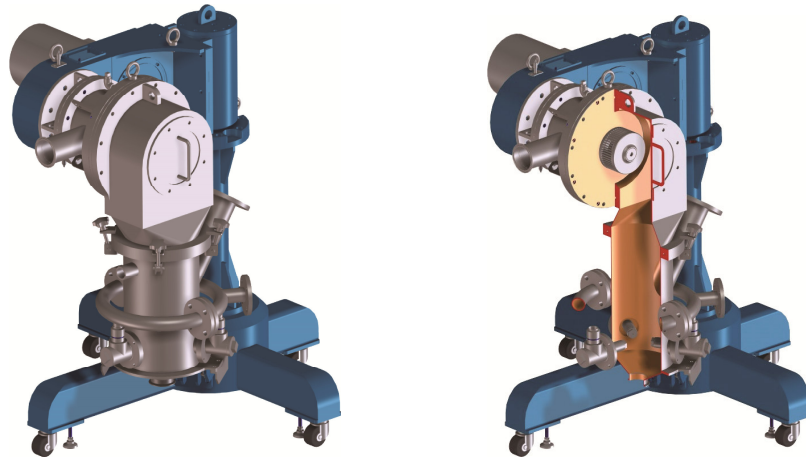
ホソカワ／アルピネ カウンタジェットミル AFG-CR（流動層式対向型ジェットミル）

**2. 原理・構造**

流動層式対向型ジェットミル AFG の粉砕部と新形状の分級ロータを持つ分級部で構成される。

粉砕部は対抗するノズルから圧縮ガスを噴射して原料粒子同士を高速で衝突させて超微粉砕する。粉砕部上部に搭載した分級部に採用した分級ロータの形状をロータ内部

の半自由渦効果を高める構造とすることで、従来機に比べて低い分級回転速度で細かい分級点を実現しました。また、このロータ構造に起因し、ロータ羽根（表面）による強制渦効果に加え、ロータ内部発生渦による半自由渦効果により、分級性能が向上しました。



### 3. 特長

- ◆高性能分級機の搭載により、超微粉碎が可能
- ◆セラミック製分級ロータを用いることで、耐摩耗、金属コンタミの防止が可能
- ◆分級ロータを複数搭載したマルチロータ型分級部とすることで、製品粒子径を保ったスケールアップが可能

#### 【200AFG-CR 外観】



以上、お知らせいたします。